



汎用ルーブリックの活用方法と事例



1. ルーブリックとは何か？

ルーブリックは、具体的な学習目標を示す「観点」と学習目標の到達度をレベルで示す「尺度」およびそれぞれの特徴を示す「記述語」で構成され、それらを表形式で示した評価基準表です。

		尺度				
観点（基準）		S（秀）	A（優）	B（良）	C（可）	F（不可）
観点の説明		到達目標を大きく超えた基準で達している	到達目標を越えた基準で達している	到達目標にほぼ同様の基準で達している	到達目標にほぼ同様の基準で達している	到達目標に達していない
観点	テーマの設定	課題に応じて適切なテーマを設定がなされている項目。	課題に応じて適切なテーマを設定がなされている項目。	課題に応じて適切なテーマを設定がなされている項目。	課題に応じて適切なテーマを設定がなされている項目。	課題に相応しくないテーマ設定がなされている項目。
	主張	レポート課題のテーマに沿って、自身の主張の明確さ、その内容の質を評価するための項目。	レポート課題のテーマに沿って、自身の主張の明確さ、その内容の質を評価するための項目。	レポート課題のテーマに沿って、自身の主張の明確さ、その内容の質を評価するための項目。	レポート課題のテーマに沿って、自身の主張の明確さ、その内容の質を評価するための項目。	レポート課題のテーマに沿って、自身の主張の明確さ、その内容の質を評価するための項目。
	主張の根拠	主張したい事柄に対する根拠となる資料を、データや先行研究から探し出しているかを評価するための項目。	主張したい事柄に対する根拠となる資料を、データや先行研究から探し出しているかを評価するための項目。	主張したい事柄に対する根拠となる資料を、データや先行研究から探し出しているかを評価するための項目。	主張したい事柄に対する根拠となる資料を、データや先行研究から探し出しているかを評価するための項目。	主張したい事柄に対する根拠となる資料を、データや先行研究から探し出しているかを評価するための項目。
	ストーリー（論理構成）	主張したい事柄に対する根拠をデータや先行研究で明記し、理由を挙げて十分な説得力があり、かつ文章表現も優れている項目。	主張したい事柄に対する根拠をデータや先行研究で明記し、理由を挙げて十分な説得力があり、かつ文章表現も優れている項目。	主張したい事柄に対する根拠をデータや先行研究で明記し、理由を挙げて十分な説得力があり、かつ文章表現も優れている項目。	主張したい事柄に対する根拠をデータや先行研究で明記し、理由を挙げて十分な説得力があり、かつ文章表現も優れている項目。	主張したい事柄に対する根拠をデータや先行研究で明記し、理由を挙げて十分な説得力があり、かつ文章表現も優れている項目。

記述語

例)「レポート(論証型レポート)」の汎用ルーブリック

2. ルーブリックの作成

成績評価方法・基準におけるルーブリックの活用として3つの方法を例示しています。

◎汎用ルーブリックを用いる場合

今回ご提示した『汎用ルーブリック（①～④）』を活用してください。

なお、成績評価方法・基準に応じて複数の汎用ルーブリックを活用することも可能です。

◎独自のルーブリックを用いる場合

独自にルーブリックを作成いただき、評価基準としてください。

◎その他の評価基準を用いる場合

ルーブリックと同様に説明できる評価基準で評価を行ってください。

3. ルーブリックの活用のタイミング

学生に課題を提示するタイミングで、ルーブリックによる成績評価方法を併せて説明をすると、評価基準の理解が進むだけでなく、課題に取り組むポイントが明確になる等の効果があります。

4. ルーブリックによる採点

①教員は、課題（レポート等）を回収した後、「観点」別の「記述語」に則り、該当する「尺度」にチェック（丸をつける等）を行います。

観点（標準）	観点の説明	S（秀） 到達目標を大きく超えた基準で達している	A（優） 到達目標を越えた基準で達している	B（良） 到達目標に標準的な基準で達している	C（可） 到達目標に最低限の基準で達している	F（不可） 到達目標に達していない
テーマの設定	課題に応じて適切なテーマ設定がなされているかを評価するための項目。	当該分野の学習レベルを超え、学術上の重要な課題をテーマとして設定している。	課題に応じて適切なテーマ設定が標準的な基準で達している。	課題に応じて適切なテーマ設定がなされている。	課題に応じて適切なテーマ設定がなされているが、切り口が安直である。	課題に相応しくないテーマ設定がなされている。
主張	レポート課題のテーマに沿って、自身の主張を論理的に述べ、その内容を評価するための項目。	テーマに沿って、自身の主張を論理的に述べており、なおかつ主張に独自性がある。	テーマに沿って、自身の主張を論理的に述べており、なおかつ主張に独自性がある。	テーマに沿って、自身の主張を論理的に述べている。	テーマに沿って、自身の主張が述べられているが、深く又は論理的に考察していない。	自身の意見が無い、あるいは、与えられたテーマを踏まえた文章になっていない。
主張の根拠	主張したい事柄に対する根拠となる資料を、データや先行研究から探し出しているかを評価するための項目。	主張したい事柄に対する根拠となる資料を、データや先行研究から必要かつ十分な形で探し出しており、それらに対する評価がある。	主張したい事柄に対する根拠となる資料を、データや先行研究から必要かつ十分な形で探し出している。	主張したい事柄に対する根拠となる資料を、データや先行研究から探し出している。	主張したい事柄に対する根拠となる資料を、データや先行研究から探し出しているが、一部に出自が不明記されているものがある。	主張や根拠を指示する資料や図表が提示されておらず、感想文の域を出ていない。
ストーリー（論理構成）	主張したい事柄に対する根拠をデータや先行研究で明記し、理由に裏付けがあるかを評価するための項目。	主張したい事柄に対する根拠をデータや先行研究で明記し、理由に裏付けがあるかを評価している。	主張したい事柄に対する根拠をデータや先行研究で明記し、理由に裏付けがあるかを評価している。	主張したい事柄に対する根拠をデータや先行研究で明記し、理由に裏付けがあるかを評価している。	主張したい事柄に対する根拠をデータや先行研究で明記しているが、論理に飛躍がある。	理由を述べない形で主張が展開・記述されている。

②ルーブリックによる成績評価を点数化する場合

②-1 尺度に点数を明示する 例) S（秀）4点、A（優）3点、B（良）2点、C（可）1点、F（不可）0点

観点（標準）	観点の説明	S（秀） 4点	A（優） 3点	B（良） 2点	C（可） 1点	F（不可） 0点
テーマの設定	課題に応じて適切なテーマ設定がなされているかを評価するための項目。	当該分野の学習レベルを超え、学術上の重要な課題をテーマとして設定している。	課題に応じて適切なテーマ設定が標準的な基準で達している。	課題に応じて適切なテーマ設定がなされている。	課題に応じて適切なテーマ設定がなされているが、切り口が安直である。	課題に相応しくないテーマ設定がなされている。
主張	レポート課題のテーマに沿って、自身の主張を論理的に述べ、その内容を評価するための項目。	テーマに沿って、自身の主張を論理的に述べており、なおかつ主張に独自性がある。	テーマに沿って、自身の主張を論理的に述べており、なおかつ主張に独自性がある。	テーマに沿って、自身の主張を論理的に述べている。	テーマに沿って、自身の主張が述べられているが、深く又は論理的に考察していない。	自身の意見が無い、あるいは、与えられたテーマを踏まえた文章になっていない。
主張の根拠	主張したい事柄に対する根拠となる資料を、データや先行研究から探し出しているかを評価するための項目。	主張したい事柄に対する根拠となる資料を、データや先行研究から必要かつ十分な形で探し出しており、それらに対する評価がある。	主張したい事柄に対する根拠となる資料を、データや先行研究から必要かつ十分な形で探し出している。	主張したい事柄に対する根拠となる資料を、データや先行研究から探し出している。	主張したい事柄に対する根拠となる資料を、データや先行研究から探し出しているが、一部に出自が不明記されているものがある。	主張や根拠を指示する資料や図表が提示されておらず、感想文の域を出ていない。
ストーリー（論理構成）	主張したい事柄に対する根拠をデータや先行研究で明記し、理由に裏付けがあるかを評価するための項目。	主張したい事柄に対する根拠をデータや先行研究で明記し、理由に裏付けがあるかを評価している。	主張したい事柄に対する根拠をデータや先行研究で明記し、理由に裏付けがあるかを評価している。	主張したい事柄に対する根拠をデータや先行研究で明記し、理由に裏付けがあるかを評価している。	主張したい事柄に対する根拠をデータや先行研究で明記しているが、論理に飛躍がある。	理由を述べない形で主張が展開・記述されている。

②-2 観点ごとの満点を設定して、尺度に応じて点数を配分する

観点（標準）	観点の説明	S（秀）	A（優）	B（良）	C（可）	F（不可）
テーマの設定	課題に応じて適切なテーマ設定がなされているかを評価するための項目。	5点満点				
主張	レポート課題のテーマに沿って、自身の主張を論理的に述べ、その内容を評価するための項目。	10点満点				
主張の根拠	主張したい事柄に対する根拠となる資料を、データや先行研究から探し出しているかを評価するための項目。	10点満点				
ストーリー（論理構成）	主張したい事柄に対する根拠をデータや先行研究で明記し、理由に裏付けがあるかを評価するための項目。	5点満点				
		5点	4点	3点	2点	1点
		10-8点	7-6点	5-4点	3-2点	1点
		10-8点	7-6点	5-4点	3-2点	1点
		5点	4点	3点	2点	1点

上記はあくまでも事例ですので、科目や課題に応じた方法で活用をお願い致します。

参考文献

ダネル・スティーブンス、アントニア・レビ（佐藤浩章訳）（2014）『大学教員のためのルーブリック評価入門』玉川大学出版部
中島英博編著（2018）『シリーズ大学の教授法4 学習評価』玉川大学出版部